

令和4年9月16日

報道機関各位

吉川市政策室主幹

誰もが自分らしく安心して暮らせる未来へ
～認知症とともに生きる、認知症と診断されても自分らしく歩みつづける～
認知症の普及・啓発イベントを開催します

市では、認知症になっても希望を持って過ごせる社会について考える機会として、認知症の普及・啓発イベントを開催します。

認知症の方が何を思い、何を伝えたいのか。体験談やメッセージを聞いてみませんか。

概要

- 日時** 10月1日（土）午後1時30分～3時（受付開始：午後1時）
- 場所** 中央公民館ホール（保 577）※駐車場には限りがあるため、可能な限り公共交通機関をご利用ください。
- 内容**
- ・認知症本人大使である渡邊氏による体験談やメッセージ
 - ・若年性認知症支援コーディネーターである松本氏による支援の実践について
 - ・市立図書館より関連図書の紹介
- 対象** 市内在住、在勤、在学の方
- 定員** 150人
- 講師** 渡邊 雅徳氏（認知症本人大使「埼玉県オレンジ大使」）

40歳の冬、朝起きると何をしたらよいか分からず、認知症状を自覚。その後、若年性アルツハイマー型認知症の診断を受け、当時勤めていた会社を退職。現在は障がい者雇用で一般企業に勤めています。

令和3年9月に埼玉県オレンジ大使に就任。自らの経験をもとに、認知症の普及・啓発活動を行っています。

[本人からのメッセージ]

40歳で発症し、様々な出会いをきっかけにヤル気を取り戻し、講演活動や就職活動を頑張っています。

松本 由美子氏（若年性認知症支援コーディネーター）

若年性認知症支援コーディネーターとして、若年性認知症の人やその家族、支援関係専門職・事業者等からの医療や福祉サービスなど、生活全般にわたる相談対応や支援を行っています。

申込 住所、氏名、生年月日、連絡先を記入の上、ファクスで長寿支援課へ。右記申込フォームでも申し込み可能です。(先着順)



※新型コロナウイルス感染症の感染状況によって内容に一部変更が生じる場合があります。

認知症本人大使「埼玉県オレンジ大使」について (埼玉県ホームページより一部抜粋)

認知症の理解をより深めていただくためには、認知症本人からの意思を発信する機会を増やすことが重要です。

そこで埼玉県では、認知症になっても地域で自分らしく暮らしており、認知症の普及啓発に意欲のある方に大使の任命をしました。

今後、認知症サポーター養成講座などで自らの経験や考えを語っていただく機会などを通して、認知症について発信していただく予定となっています。

この件に関するお問合せ先

- お問合せ：健康長寿部 長寿支援課 ☎048・982・5118

記事提供：政策室 広聴広報担当 島田・吉田 ☎048・982・5112